

公益社団法人広陵町シルバー人材センター

令和6年度 事業計画

1. 基本方針

我が国において令和4年度の税収が発表（令和5年7月）され4兆995億の増で総額71兆円を記録し過去最高税額になったにも関わらず法人税、所得税、たばこ税等増税され国民の暮らしは厳しいままで負担が増え経済も上向きにならず、このままでは我が国は先細りになっていきます。

また令和5年10月より施行された適格請求書等保存方式「インボイス制度」の煩雑な事務に追われ個人、中小企業はかなり疲弊しています。

そうした中、シルバー人材センターの役割がますます大きくなってまいります。

シルバーの理念である「自主・自立・共働・共助」の事業理念を基に地域社会に貢献し高齢者の受け皿としての役割を十分に果たし「シルバー人材センターが名実ともに自主・自立」出来るよう会員、役職員一同が一丸となってセンターの発展に取り組んでまいります。

2. 事業計画

（1）会員の確保・拡大

- ① 毎年度数名の実績があがっている会員による勧誘「いち会員ひとり運動」の推進を図り、会員数の増員に努めます。
- ② 月2回定期的に入会説明会を開催し会員の入会促進に努めます。
- ③ 町広報誌に説明会の日程案内を毎月掲載し、説明会の参加を促進させると共に、HP（ホームページ）にもシルバーの概要等掲載し入会を促すよう努めます。
- ④ 未就業会員への就業の斡旋を図り退会者の抑制に努めます。
- ⑤ 高齢者が増加しているため安全で長期に渡って出来る作業を選択し就業を少しでも長く出来るようにし退会者を抑止し会員減を減少させます。
- ⑥ 女性会員の入会促進を目指して女性活性化委員会と協力して女性会員の増員に努めます。
- ⑦ 奈良県シルバー人材センターからの人材確保育成事業に協力し、会員の入会を促します。

（２）安全・適正就業の推進

会員の就業は能力と体力そして年齢に見合った仕事を安全に就業していただくようにすることが重要であり、「安全就業はすべてに優先」を第一にＫＹ（危険予知）と合わせ事故防止及び健康被害が出ないように努めます。

また、安全適正就業委員会、安全コンサルタントを中心に安全就業の徹底を図り未然に事故等防ぐように努めます。

- ① 安全適正就業委員会の開催します。
- ② 安全就業パトロールを実施します。
- ③ 安全コンサルタントによる現場への見回り指導、また安全講習を年２回開催し就業中や途上の交通事故等の「事故ゼロ」を目標に安全管理に努めます。
- ④ 奈良県森林組合講師によるチェーンソー、草刈機等の機械の構造や使用方法の講習を行い機械のメンテナンス等を会員自身で出来るよう教育を受け、自主で出来るようになってもらうよう努めます。
- ⑤ ワークシェアリングにより適正就業に努めます。
- ⑥ 厚生労働省からの「適正就業ガイドライン」をもとに請負、派遣の就業形態で適正に契約するよう努めます。
- ⑦ シルバー人材センターは会員の健康の維持が主な目的となっていますので８０歳以上の方の健康診断書の提出、病気や怪我後の復帰時に診断書の提出をしていただき会員自身の健康状態を把握してもらえよう努めます。

（３）普及啓発の推進

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、一般家庭・民間事業所等に対して事業の意義と基本的な理念及びしくみ等を周知するとともに高齢者に対する意識啓発を行う。

- ① 毎月、町広報を通じて会員入会の案内や各種講習、イベント等を告知してシルバーの入会やＰＲを行います。
- ② ホームページにシルバーのＰＲを掲載し、就業の確保に努めます。
- ③ シルバー人材センターの啓発チラシを作成し広報紙へ折込みをし、全戸配布により会員の勧誘に努めます。

（４）福祉家事援助・子育て支援事業の推進

高齢者が長年培ってきた豊かな経験と知識を活用し、公共団体と連携した地域密着型の事業を展開し、地域社会に貢献する。また、地域社会の要望を踏まえながら女性の活躍を推進するための就業分野の拡大に努める。

（５）自主財源の確保

自主財源の確保は、センター運営上の基礎となるもので、これまでも健全な財政運営に努めてまいりましたが、今年度も引き続き安定した自主財源の確保を図りながら健全な財政運営に努めてまいります。

（６）デジタル化の推進

全国シルバー人材センター協議会よりデジタル化を進めていく通達があり、また、インボイスの影響で契約方法の見直しがなされるため、その関係上スマートフォン等の活用で会員自身が請負情報や配分金明細を閲覧出来るようにシステムの改善、それに対する講習を開催し、会員全員が使いこなせるよう努めます。

システムの改善時、発注者支払いでのコンビニ決済が出来るよう改善します。

（７）有料職業紹介の推進

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者に対し、職業紹介事業を行います。

（８）ボランティア活動の促進

就業することに加え社会奉仕活動に取り組み地域社会に貢献する重要性について個々の会員の意識の啓発に努め、高齢者の社会参加の推進を図る。

- ① 「全国シルバーボランティアの日」にボランティア参加者と地区の清掃ボランティアを行い社会参加しPRします。
- ② 県・町主催の「大和川水系ボランティア」活動にも参加し地域に貢献します。

（９）関係機関との調整

広陵町シルバー人材センターのあらゆる事業運営を円滑に推進するため、全国シルバー人材センター事業協会、及び奈良県シルバー人材センター協議会との連絡を密にし、奈良県、広陵町及び各種団体との協調を図り連携の強化に努めます。